

# 第51期年次報告書

2025年4月1日～2026年3月31日

株式会社アスモ



## トップメッセージ

株主の皆様には格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ここに第51期（2025年4月1日から2026年3月31日まで）の年次報告書を作成いたしましたので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

当連結会計年度における国内経済の状況は、インバウンド需要の高まりや賃金上昇等に端を発する雇用・所得環境の改善などにより景気は緩やかな回復基調にある一方、世界的な資源価格の高騰や日米金利差拡大を背景とした為替相場の不安定な変動、人手不足の深刻化など依然として先行き不透明な状況が続いています。

このような環境の中、当社グループを取り巻く状況につきましては、少子高齢化の影響による人手不足の深刻化、食材価格の上昇、また競争の激化等により厳しさを増していますが、既存事業の全体的な底上げを行うことで、経営成績の向上に一丸となって取り組みました。

今後におきましても、各事業の状況に応じて売上高の拡大や利益率の改善を推し進めることで、業績の向上に向けグループ一丸となって邁進してまいります。

2026年6月

代表取締役社長 **長井 尊**

## 主要な事業内容

当社グループ(当社及び当社の関係会社)は、当社(株式会社アスモ)及び連結子会社6社により構成されており、食肉の輸入、食肉及び食肉加工品販売をはじめ、主に高齢者福祉施設における給食の提供、介護福祉施設の訪問介護、海外における外食店舗の経営・食品加工販売を主な内容として事業活動を展開しております。

### 株式会社アスモ

グループ各社の統制・管理、不動産の賃貸を行っております。

#### 株式会社アスモトレーディング

牛肉、牛内臓肉、豚肉及び加工品等を国内外から幅広く調達し、販売を行っております。

#### 株式会社アスモフードサービス

高齢者介護施設等を中心として251施設(労務委託等の部分委託を含む)において、利用者の方々に給食を提供しております。

#### 株式会社アスモ介護サービス

訪問介護事業所・居宅介護支援事業所の運営事業及び有料老人ホームの建設、企画、施設運営事業を行っております。

#### ASMO CATERING (HK) COMPANY LIMITED

香港にて10店舗(6業態)の外食店舗を運営しております。

## 事業の概況

### 1. 全般の概況

当連結会計年度の業績は、売上高21,236百万円(前年同期比3.4%増)、営業利益651百万円(前年同期比119.5%増)、経常利益689百万円(前年同期比120.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は、465百万円(前年同期比224.1%増)となりました。

### 2. セグメント別の概況

#### ① アスモトレーディング事業

アスモトレーディング事業におきましては、世界的なインフレ及び円安進行による価格高騰が一段と加速し、かつてない高値水準での販売を余儀なくされました。さらに、干ばつなどの気候要因や世界情勢の不安定化による物流遅延、加えてガソリン価格の上昇も重なり、食肉価格は右肩上がりの状況が続きました。

鶏肉ではフランス産鶏モモの高騰、豚肉ではスペイン産豚肉の禁輸措置により、従来どおりの調達が困難となり、販売量の減少を招きました。

一方、牛肉においては、アメリカ産に加えてオーストラリア産の価格も高騰し、過去に例のない価格帯となったことで、メキシコ産をご提案する機会が広がりました。展示会を通じて提案営業を強化し、新規顧客の獲得と既存顧客への掘り起こし営業を進めた結果、厳しい価格環境下ではありましたが、品質と価格のバランスにおいて高い評価をいただくことができました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、4,097百万円(前年同期比4.4%増)、セグメント利益(営業利益)は、86百万円(前年同期比143.6%増)となりました。

今後も円安進行と価格高騰は避けられない課題であるため、お客様との商談において丁寧な説明を行いながら、最適な提案を継続してまいります。加えて、展示会出展を軸とした新規顧客の開拓に加え、WEB販売事業やふるさと納税返礼品への出品など販売チャネルの拡大を図り、インバウンド需要にも対応してまいります。

#### ② アスモフードサービス事業

アスモフードサービス事業におきましては、継続的な人員不足や原材料価格の高騰が続き、国際情勢の影響による原油由来の商品値上がりが予想されるなど、厳しい事業環境が続いております。

このような環境の中、仕入先との仕入値の交渉を継続して行ったほか、原点に立ち返り、原材料を仕入れる際の数量、タイミングを再精査し適正化を図るなど、無駄をなくすことを徹底し、適正な原材料費となることを目指してまいりました。

慢性的な人材不足への対応として、従前より求人媒体の再選定等の改善を図ってまいりましたが、これに加え現存の貴重な社内人材の力を効率的に発揮してもらうため、これまで部署毎に担当していた業務を、部署の垣根を越えて対応する新たな体制を構築いたしました。引き続き社内の総合的な人員力で補うことを目指してまいります。

また、売上に関しては、季節に応じた各種イベントの企画提案を、積極的にに行い実施してまいりました。ご入居者様には各種イベント色を味わっていただくことにより、季節感や食の喜びを感じていただく高付加価値を提供し、売上に寄与いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、9,181百万円(前年同期比8.4%増)、セグメント利益(営業利益)は、361百万円(前年同期比55.4%増)となりました。

今後におきましても、各拠点へ営業に特化した人材を配置することで、新規取引先の受託へ注力してまいります。

#### ③ アスモ介護サービス事業

アスモ介護サービス事業におきましては、訪問介護事業所、居宅介護支援事業所及び有料老人ホーム運営事業を営んでおり、介護業界全体としては、深刻化している人材不足問題は、当社においても継続的な課題となっております。また、昨今の不安定な世界情勢に伴う物価高騰の影響で経費が依然として増加傾向にあり、解消するタスクは容易ではありませんが、新たなチャレンジと捉えて日々取り組んでおります。全てのご利用者様の安心で安全な生活に寄り添うための取り組みにご支持をいただきましたおかげで、ご利用者様を確保することができたと考えております。また、業績面においても、当期の計画値をおおむね達成することができました。

当連結会計年度末現在、訪問介護事業所32事業所(前年同期末は34事業所)居宅介護支援事業所11事業所(前年同期末は11事業所)となり、支援させていただいておりますご利用者様(※)は2,013名(前年同期末は1,955名)となりました。また、有料老人ホーム7施設(前年同期末は7施設)のご入居者は408名(前年同期末は398名)となりました。(※)介護タクシーでの介護保険利用者を除く

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、5,341百万円(前年同期比2.2%減)、セグメント利益(営業利益)は、427百万円(前年同期比34.8%増)となりました。

今後におきましては、更なる業績向上を目指すとともに、社員一人ひとりの成長を支える人材育成に注力していくことで、介護サービスの品質向上を図ってまいります。

#### ④ ASMO CATERING(HK)事業

ASMO CATERING(HK)事業におきましては、外食事業は昨年10月に退店した大埔秀吉店及び今年1月に退店した東涌秀吉店を除く、既存店10店舗における合計で、売上予算対比及び昨年売上実績比減と引き続き苦戦しております。

卸売事業におきましては、主要顧客である日系飲食企業の旧正月(2月17日～19日)前後の販促商品などの受注増などにより、物流部門の利益が寄与したため、全体としても利益を確保することができました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、2,611百万円(前年同期比2.1%減)、セグメント利益(営業利益)は、36百万円(前年同期セグメント損失48百万円)となりました。

今後も、日系飲食各社のご要望に個別に臨機応変に対応していくことで、引き続き事業規模を拡大していけると存じます。

外食事業につきましては、当連結会計年度においては苦戦いたしました。既存店10店舗のうち赤字幅の大きい店舗や、今年度中に契約更改を控えている店舗の家賃減額交渉、及び惣菜ショップの新規出店など模索して業績回復につなげてまいりたいと存じます。

## 対処すべき課題

当社グループの事業を取り巻く環境は、引き続き厳しいものと予測されます。

中長期的な経営戦略の達成に向けて対処すべき課題は、下記のとおりと認識しております。

### 1. 収益力の強化

当社グループの既存事業において、競合他社と差別化を図り、安定的に収益を確保することは容易ではなく、また恒常的な人手不足とそれに伴う人件費の上昇で収益の維持が不安定な状況にあります。

アスマトレーディング事業においては、商品販売の総販売実績に対する割合が高く、そのため業績が市況の変動に大きく影響を受けると同時に、差別化を図ることは容易ではありません。高付加価値商材を数多く取扱い、お客様のニーズに合った価格設定ができるように取り組んでまいります。

アスマフードサービス事業においては、受託施設も増え売上が順調に推移しております。ご利用者様が施設で健康に生活していくためには、ご利用者様本位のおいしくて質の高いお食事が適切に供給される必要があります。原材料費の高騰に対応すべく、業者の選定を行い、適時・適切・適正価格での食材調達に努め、徹底したコスト管理を実施することで、収益モデルの改善に取り組んでまいります。

アスマ介護サービス事業においては、更なる介護需要を取り込む施策の一環として、新規有料老人ホームの開発も見据えながら、業績並びに介護サービス提供の向上に取り組んでまいります。

ASMO CATERING (HK) 事業においては、不採算店舗の撤退等で規模が縮小されたことにより、効率的な運営が行える体制になりつつあります。メニュー及びサービスの品質向上、維持に努め、安定的な収益確保に取り組んでまいります。

上記のとおり、効率的な運営・管理を行い、収益拡大を目指し、収益力の強化を図ってまいります。

### 2. 競合他社との競争優位性

少子高齢化に歯止めがかからない日本は、総人口が減少する中、65歳以上の高齢者が増加し続けています。

アスマ介護事業においては、人材不足や離職率の高さなどを解決するために、介護職のマイナスイメージを払拭し、仕事をしながら社会に貢献できる魅力を発信することで社会的地位の向上に取り組むとともに、ご利用者様へ新たな付加価値を創出し、他社とのサービスの差別化を図れるよう取り組んでまいります。

### 3. 内部統制システムの確立

金融商品取引法に基づく財務報告に係る内部統制の導入に伴い、当社グループといたしましても取り組みを強化してまいりましたが、今後も引き続き、経営環境の変化に迅速に対応できる経営管理組織にすべく、リスクの見える化、不正のできない仕組みの拡大などによる予防重視の内部統制強化に向け取り組んでまいります。

### 4. 次代を担う人材育成

激変する経済環境の中で、当社グループといたしましても、あらゆる事業運営のベースは人材であると考えます。次代を担う経営者あるいは管理者たる人材の育成が急務であります。社内外を問わない効率的な人材配置及び多様な人材が能力を最大限発揮できるような環境を図ってまいります。

## 連結貸借対照表

(2026年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>資産の部</b>		<b>負債の部</b>	
流動資産	8,823,288	流動負債	2,648,005
現金及び預金	5,174,180	支払手形及び買掛金	788,458
受取手形及び売掛金	2,266,989	短期借入金	74,520
商品	526,747	リース債務	6,262
貯蔵品	12,263	未払金	727,748
前渡金	600,049	未払法人税等	189,319
その他	272,744	賞与引当金	196,923
貸倒引当金	△29,686	その他	664,773
固定資産	1,122,215	固定負債	307,374
有形固定資産	80,829	リース債務	15,675
建物及び構築物	33,155	退職給付に係る負債	291,698
機械装置及び運搬具	2,264	負債合計	2,955,379
工具、器具及び備品	29,265		
リース資産	16,143	<b>純資産の部</b>	
無形固定資産	10,643	株主資本	6,808,083
リース資産	3,239	資本金	2,323,272
その他	7,404	利益剰余金	4,825,710
投資その他の資産	1,030,742	自己株式	△340,899
投資有価証券	1	その他の包括利益累計額	155,432
長期貸付金	337,512	繰延ヘッジ損益	144
差入保証金	510,453	為替換算調整勘定	139,092
繰延税金資産	216,118	退職給付に係る調整累計額	16,195
その他	557,801	非支配株主持分	26,608
貸倒引当金	△591,144	純資産合計	6,990,124
資産合計	9,945,503	負債純資産合計	9,945,503

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書

(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額
売上高	21,236,709
売上原価	17,157,217
売上総利益	4,079,492
販売費及び一般管理費	3,427,878
営業利益	651,613
営業外収益	51,243
営業外費用	13,819
経常利益	689,038
特別利益	13,275
特別損失	2,713
税金等調整前当期純利益	699,599
法人税、住民税及び事業税	255,398
法人税等調整額	△36,762
当期純利益	480,963
非支配株主に帰属する当期純利益	15,220
親会社株主に帰属する当期純利益	465,743

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結株主資本等変動計算書

(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本			
	資本金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計
2025年4月1日 残高	2,323,272	4,494,612	△340,899	6,476,985
連結会計年度中の変動額				
剰 余 金 の 配 当		△134,644		△134,644
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益		465,743		465,743
自 己 株 式 の 取 得			△0	△0
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)				
連結会計年度中の変動額合計	—	331,098	△0	331,098
2026年3月31日 残高	2,323,272	4,825,710	△340,899	6,808,083

	その他の包括利益累計額				非支配 株主 持分	純資産 合計
	繰延 ヘッジ 損益	為替 換算 調整 勘定	退職給付 に係る 調整 累計額	その他の 包括利益 累計額 合計		
2025年4月1日 残高	△233	156,104	△11,507	144,364	19,525	6,640,874
連結会計年度中の変動額						
剰 余 金 の 配 当						△134,644
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益						465,743
自 己 株 式 の 取 得						△0
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)	377	△17,012	27,702	11,068	7,082	18,151
連結会計年度中の変動額合計	377	△17,012	27,702	11,068	7,082	349,249
2026年3月31日 残高	144	139,092	16,195	155,432	26,608	6,990,124

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 貸借対照表

(2026年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>資産の部</b>		<b>負債の部</b>	
流動資産	3,044,566	流動負債	32,437
現金及び預金	2,175,044	未払金	8,140
貯蔵品	1	未払費用	1,594
短期貸付金	17,999	前受収益	438
前払費用	11,839	預り金	6,045
その他	34,488	賞与引当金	4,220
未収入金	205,280	未払法人税等	8,857
前渡金	600,000	リース債務	2,573
貸倒引当金	△88	その他	568
固定資産	268,293	固定負債	9,413
有形固定資産	11,740	リース債務	9,413
建物	911	負債合計	41,851
工具、器具及び備品	2,544	<b>純資産の部</b>	
リース資産	8,284	株主資本	3,271,008
無形固定資産	9,735	資本金	2,323,272
ソフトウェア	7,217	利益剰余金	1,288,636
リース資産	2,517	利益準備金	151,941
投資その他の資産	246,817	その他利益剰余金	1,136,694
関係会社株式	58,578	繰越利益剰余金	1,136,694
長期貸付金	27,729	自己株式	△340,899
関係会社長期貸付金	255,341	純資産合計	3,271,008
破産更生債権等	55,136	負債純資産合計	3,312,860
繰延税金資産	5,089		
差入保証金	68,182		
長期未収入金	236,898		
貸倒引当金	△460,138		
資産合計	3,312,860		

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 損益計算書

(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額
営業収益	204,778
営業費用	264,603
営業損失	59,825
営業外収益	10,390
営業外費用	11,729
経常損失	61,164
特別利益	25,000
税引前当期純損失	36,164
法人税、住民税及び事業税	△108,346
法人税等調整額	△106
当期純利益	72,288

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 株主資本等変動計算書

(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本
	資本金
2025年4月1日 残高	2,323,272
事業年度中の変動額	
剰余金の配当	
当期純利益	
自己株式の取得	
事業年度中の変動額合計	—
2026年3月31日 残高	2,323,272

	株主資本					純資産 合計
	利益剰余金			自己 株式	株主 資本 合計	
	利益 準備金	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益 剰余金 合計			
2025年4月1日 残高	138,476	1,212,514	1,350,991	△340,899	3,333,364	3,333,364
事業年度中の変動額						
剰余金の配当	13,464	△148,109	△134,644		△134,644	△134,644
当期純利益		72,288	72,288		72,288	72,288
自己株式の取得				△0	△0	△0
事業年度中の変動額合計	13,464	△75,820	△62,355	△0	△62,355	△62,355
2026年3月31日 残高	151,941	1,136,694	1,288,636	△340,899	3,271,008	3,271,008

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

**会社概要** (2026年4月1日現在)

企業名 株式会社アスモ  
(英語表記 ASMO CORPORATION)

設立 1975年(昭和50年)

資本金 23億2,327万円

本社 〒163-0825

所在地 東京都新宿区西新宿二丁目4番1号 新宿NSビル25階  
☎ 03-6911-0550

事業内容 グループ各社の経営管理

正社員数 1,436名(グループ全体、2026年3月31日現在)

連結子会社 株式会社アスモレーディング  
株式会社アスモフードサービス  
株式会社アスモフードサービス東日本  
株式会社アスモ介護サービス  
株式会社アスモライフサービス  
ASMO CATERING (HK) COMPANY LIMITED

取引銀行 北陸銀行、りそな銀行、みずほ銀行、みずほ信託銀行、ゆうちょ銀行

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日  
 剰余金の配当基準日 3月31日（中間配当を行う場合は9月30日）  
 定時株主総会 毎年6月下旬  
 単元株式数 100株  
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号

みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほ信託銀行 証券代行部 ホームページ <a href="https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html">https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html</a> フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00) 本店及び全国各支店 *トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。
ご注意		特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

公告方法 電子公告  
 ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

## 株式の状況

発行可能株式総数 60,000,000株  
 発行済株式の総数 15,145,175株  
 株主数 6,113名

## 大株主

(2026年3月31日現在)

順位	株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
1	株式会社Persons Bridge	8,200	60.90
2	長井 カズエ	1,084	8.06
3	内藤 征吾	292	2.17
4	福山 良二	194	1.44
5	株式会社日本カストディ銀行	68	0.51
6	長井 尊	49	0.37
7	村上 一芳	45	0.33
8	株式会社SBI証券	41	0.31
9	小出 正文	37	0.28
10	武田 昌姫	35	0.26

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 当社は、自己株式を1,680,694株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
 3. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

